

## 特別支援



新型コロナウイルスが5類感染症に位置づけられ、新しい学校生活が始まった1年でした！！

どれにしようかな・・・



小学部 きりの子バザール

中学部と高等部の先輩が作った製品を、よく見て選んでいました。おすすめの品物や値段を優しく教えてもらい、買うものを決めていました。4つのお店で、楽しく買い物学習ができました。家では、家族に買ったものを嬉しそうに見せたり、お皿を使ったり木の玩具で遊んだりしたそうです。

これ、ください



中学部 きりの子バザール



きりの子バザールがありました。1年間作業学習で協力して取り組んできた革製品や陶芸皿を保護者のみなさんや小学部高等部の友達に販売する場で大張り切り。値付けや袋詰めから看板やうちわ、ポップ制作、お店の飾り付け、販売練習等、買いに来てくれる方々に喜んでもらおうと一致団結して取り組みました。当日は多くの方々に来ていただき、新製品のコースター・陶芸皿も好評で、大成功となりました。



高等部 きりの子バザール



恒例のきりの子バザールでは、全校の後輩たちや保護者の皆さんに販売をすることができました。新しい製品も登場し、大盛況でした。お客さんの喜んでくれる顔を見て、達成感を抱きつつ、次への大きな励みにもなりました。購入していただいた方々から、製品の質が高く、とても良い買い物できたとの声が寄せられています。



### 支援学校より

本年度は、With コロナ社会に適応し、学校における様々な行事等の実施にあたり、内容や方法の検討・工夫を重ね、可能な限り教育活動を展開してまいりました。学年・学部を越えての交流活動やオンラインで全校をつないでの全校集会、スペースをフル活用した仲よし集会など充実した活動を実施することができました。また、他校との交流活動や居住地校交流、地域の方々との交流など広がりのある活動も実施することができました。これからも、「児童生徒が毎日通いたい学校」「保護者が毎日通わせたい学校」、魅力ある学校づくりに向けチーム学校として一丸となって真摯に取り組んでいきたいと思っております。

副校長 小林真弓

# きりの華23

Kiri-no-ka

第9号  
2024年3月発行

山梨大学教育学部附属  
幼稚園・小学校  
中学校・特別支援学校

このたびの能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の日でも早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

## 幼稚園

「ぺったんこ！ぺったんこ！」「おもちになってきたよ～！！」子ども達の元気なもちつきで幼稚園の3学期が始まりました。雪や氷など、冬の自然に不思議さを感じ、自ら関わってみたり、「もう自分でできるよ！」と上手になってきたことを得意げに自慢したりと、進級、入学に向けて大きな成長を見せてくれるこの時期の子ども達です。幼稚園の3学期の取り組みと子ども達の様子についてお伝えします。

もちつき 1月11日(木)



園庭に置いた臼の周りに集まった子ども達。「あれなあに？」と年少児は、初めて見る杵を興味津々で見つめます。ホカホカに蒸しあがったもち米の香りが辺りに広がると、「うわ～いい匂い！」とうれしそうな声が上がりました。まずは年長児がお手本になって力強く杵を振り、「がんばれ～！」と年少、年中児は、応援をしながら自分の番を待ちます。子ども用の小さな杵ですが、慣れない園児にとっては、振り上げるだけで精いっぱいな姿も・・・。

昨年度は、密を避けるために学年ごと入れ替わりながらの実施でしたが、今年は園児全員で臼を囲んで楽しくもちつきの時間を過ごせたこともあり、もちの味は格別だったようです。

発表会 2月7日(水)・8日(木)・9日(金)

園児も保護者も楽しみにしている発表会は、昨年度に引き続き、学年ごと遊戯室で実施しました。踊りや歌、合奏、劇とそれぞれ学年の実態に合わせ、友達と一緒に取り組んできた活動をおうちの人に見てもらおう機会とあって、子ども達は、緊張したり、はりきったりしながら大活躍の本番でした。

参観人数の制限をなくした今回の発表会では、多くのご家族が子ども達に拍手や声援を送ってくださり、会場は温かな雰囲気になりました。これまでの取り組みの過程も含めて、子ども達にとっては、大きな力や自信につながったことでしょう。



附属小学校1年生との交流 2月15日(木)



幼稚園の卒園が近づいてきたこの時期、「1年生」や「小学校」は、年長児にとっては憧れの対象です。昨年度から復活した「一日入学」では、1年生との交流を楽しみながら、一足早く小学校生活を体験してきました。

出合いの会では、1年生から一人一人にプレゼントされた名前入りのペンダントに大喜び！一緒にゲームやクイズをしたり、学校の中を案内してもらいながら探検したりと、「小学生気分」を味わった年長児でした。

お別れの時には、仲良くなった1年生のお兄さん、お姉さん達が「〇ちゃんバイバイ～！」「〇君、またね！」と声をかけてくれました。ますます4月の入学への期待が膨らんだようです。



各学年の活動を紹介します

1年生：生活科  
「冬まつり」の学習

子供たちがアイデア  
いっぱいのお店をつく  
り、2年生や附属幼稚  
園児を招待して冬祭り  
を開催しました。



2年生：「町たんけん」

子供たちはグループごと  
に学区の9つの施設を訪  
れました。お仕事のイン  
タビューをしたり、おて  
つだいをさせてもらっ  
たりと体験的に学び充実した活動となりました。



3年生：総合的な学習  
ヤギを飼いました

3年生がたくさんのお話  
し合いを重ねたり準備を  
したりして、期間限定で  
2頭のヤギを飼育しまし  
た。愛情をかけて一生懸命にお世話をしました。



4年生：附属特別支援学校  
との交流会

小学部のみなさんを附属小に  
招待しました。お店を開いて  
楽しんでもらおうと4年生み  
んなで計画をしました。当日はすぐに打ち解け  
て、みんな仲良く交流することができました。



5年生：スキー教室

インストラクターの指  
導を受け、みんなとて  
も良く練習に励んでい  
ました。ちょっぴり疲  
れたけれど最高の思い  
出をつくることができました。



6年生：校外学習

小学校最後の校外学習  
は国会議事堂を見学し  
ました。国の政治の中  
心を担うその重厚な建  
築を訪れ、多くのことを学ぶことができました。



給食室より



3校時頃になると給食室から食材を調理してい  
る匂いがしてきます。「今日はラーメンだよ」とか  
「カレーだよ」といった声の子供たちから聞こえ  
てきます。1年生も最初は上級生がお手伝いに来  
て準備や片づけをサポートしてくれましたが、今  
では自分たちの力でできるようになりました。



そんな子供たちの楽しみしている毎日の給食を作っているのが栄養教諭と調理員さん  
です。これからも、栄養のバランスを考えた献立を作成して、子供たちが安心して安全に食べ  
られるように、給食室でも日々一生懸命努力し、工夫しながら給食の提供を進めていきます。



この道はここにあり

チーム附属中

11月23日(木・祝)に中等教育研究会を開催しました。  
4年ぶりの完全対面授業で行った研究会には、全国から250名を  
超える参加者が集まり、日頃の研究の成果を参観していただくこと  
にも多くのご意見をいただくことができました。

講演会では、「主体的な学びを重視する授業デザイン」の演題で、  
群馬大学共同教育学部の濱田秀行教授にご講演をいただきました。  
個別最適な学び・協働的な学びを目指す授業づくりとそれを支える学級づくりが、主体的に学習に  
取り組む態度につながることを学びました。

当日はPTAの皆様のご協力を得ながら、生徒・教員も一体となり「チーム附属中」で研究会を  
実施することができました。



令和6年度生徒会活動の推進力

12月8日(金)に附属中体育館にて令和6年度生徒会役員選挙立会演説会が行われました。  
会長、副会長、議長の役職に計10名の2年生が立候補し、取り組み期間を含めて約1か月半の選  
挙活動をやり遂げました。各候補が、責任者だけでなくクラスメイトの協力を得ながら、朝の選挙  
活動や昼食時の遊説等に臨み、活動を通して「生徒会活動を生徒みんなの力で創り上げようとする  
意志」を体現していたように感じました。立会演説会で意見発表をし  
た立候補者・責任者はもちろん、演説を聞いている生徒たちの真剣な  
表情から、次年度も質の高い生徒会活動が展開されることを予感しま  
した。選挙管理委員会の計画のもと、公正公平な選挙活動が行われ、  
選出された志のある生徒会本部役員を中心に繰り上げられる附属中生  
徒会活動がどのようなものになるのか、本当に楽しみです。



卒業研究発表会

2月16日(金)、3学年では、第3回授業参観にて卒業研究発表会が行われました。  
本校では、総合的な学習の時間を「Search」「Enjoy」「Life planning」「(with)Friends」の頭文  
字をとって「SELF」と呼び、1年生から探究学習を続けています。知識を得るだけでなく、学び  
方も学ぶ「SELF」は、これからの予測困難な時代を生き抜くための課題解決力を身につける授業な  
のです。そして、「ニホンジカとニホンカモシカ」、「富士山と私たち」、「22世紀に残したい日本の  
〇〇」などの学習を経て、3年生では、個人で問いを立て、探究していく卒業研究を行ってしまし  
た。発表会当日、約1年間の探究学習の成果をプレゼンテーションする生徒の言葉には熱がこもっ  
ていました。また、仲間の発表を聞く生徒や保護者の皆様の目も真剣そのものでした。まさに、「わ  
れらの道はここにあり」という校歌の歌詞を体現してい  
るような、附属中生の姿がそこにはありました。3年間  
の学びを終えた生徒たちは学び舎を巣立ちますが、この  
SELFの授業を礎に、探究する歩みを止めることなく進  
んでもらいたいと思います。

